

どうなるの？ 敬老パス制度

時代とともに高齢者人口が増えているにもかかわらず、長年見直されることのなかった敬老パス制度。維新の改革がなければ制度そのものが破たんする危機でした。



一方、大阪自民党の主張は...

50円負担を廃止し、利用上限を設定するとmanifestoに掲げていますが、莫大な費用が必要となることはすでに市議会で議論済みです。

50円負担を廃止すると **30億円** (システム改修費込) ※H27.10決算特別委員会にて議論済み

さらに! 利用上限を設定すると **200億円** (システム改修費込) ※H24.5決算特別委員会にて議論済み

多額のお金をかけて無理に無料化すれば、その他の住民サービスの低下は免れません。

200億円
30億円
48億円

まだまだ厳しい 大阪市の財政状況

平松市政時の大阪市は毎年約500億円の赤字! 維新の改革により、現在では約268億円の赤字まで財政を改善しましたが、抜本的な赤字解消には至っていません。

一定のご負担をお願いすることによって、今後も敬老パスのサービスを現実的に維持していく **それが、大阪維新の会の答えです。**



『ブラックジャックによろしく』佐藤秀峰 著作 漫画onWebより ※本作は漫画作品の二次利用であり、原作者の思想・信条とは一切関係ありません。

JOURNAL

いしんジャーナル

vol.2

発行元
大阪維新の会・大阪市議員団
〒530-8201
大阪府大阪市北区中之島1-3-20
大阪役所8階
発行日

過去に戻すか、前に進めるか。

維新の会は、実に多くの改革を実現してきました。一方、反維新の政党は「維新政治は対立を煽るだけ」「真つ当な政治を取り戻す」と主張。今、皆さんの選択に大阪の未来がかかっています。「真つ当な政治」とは何か。改めて、過去の大阪と今の大阪を比べてください。

維新の実績 役所目線の古い常識を住民目線で改革!

事例その1 地下鉄

過去

汚い、臭い、寒い、怖い、狭い...
誰も使いたくないトイレ

※H23年度 新大阪のトイレ
※H23年度難波駅の売店
何十年も指名され続けた 外郭団体

現在

112駅リニューアル完了(H27年度見込み)
トイレ大賞も受賞!

競争入札

※H27年度 新大阪のトイレ
※H27年度難波駅のコンビニ

民営化を見据えた改革により、サービス向上のための財源を捻出!

事例その2 天王寺動物園

過去

入園者数平均 3,723人
※H26年度8/9(土)~8/17(日)

何十年も更新されない設備

動物のガイドマシーン
※H23年度7月廃止

現在

天王寺プレミアムナイトZOO

入園者数平均 14,525人
※H27年度8/8(土)~8/16(日)

デジタル案内板
アプリ連動ガイド
入場者数 約4倍

天王寺プレ...

その他にも...

●大阪光のルネサンス●大阪城パークマネジメントの発足●水都大阪プロジェクトの推進●大阪アーツカウンシルの発足●文楽協会の再生 などなど

維新は今後も住民目線で改革を前に進めます!!

徹底解説

大阪の成長を阻害し
市民の税負担を重くする!

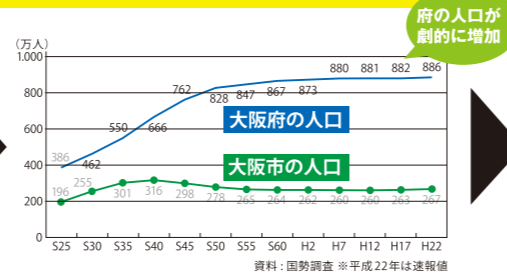
大阪の二重行政は、本当に話し合いで解決できるのか!?

大阪の二重行政は
こうして
始まった...

その昔

すべて大阪市が中心に
発展した戦後間もない時代

大阪府民の半数以上が
大阪市内に住んでいた時代。
街づくりももちろん大阪市中心だった。



今は

市外の住民が増大!
市民は府民のわずか3割程度に。
にも関わらず...
市は大きな仕事でも府と一本化
することなく抱え込んだまま!

時代や状況が変わっても大阪府は大阪市中心主義を変えず、
府と市で同じ仕事をする事態が多発。
これが、二重行政!!

大阪市中心主義の最大の失敗が、
2008年の大阪オリンピック招致!
国レベルでの大きな事業を大阪府だけで進めたことで
招致に失敗。大規模な施設をいくつも建設し、
市の財政を破たん寸前まで追い込みました。

二重行政を解消するには、大阪市役所が大阪府庁と張り合うのをやめ、広域の仕事を府に一本化するしかありません!

二重行政を象徴する2つの事例を紹介!

大阪の成長を阻害する! 港灣バラバラ問題

大阪港と堺泉北港・阪南港

世界に無視される中小規模の港
府と市それぞれが港灣を運営。半端な規模の港でしかなく、
世界の港に荷物を奪われている状態。

大きな港灣となり世界の港と競争
港灣を一元管理することで、
国際競争力アップ! 大阪の経済が発展!

でも... 反対派の主張は...

- 運営を一体化しても、府と市で負担金の割合の調整が上手くできないのではないかと。
- これまでも大阪港は大阪市が運営してきた。これからも大阪市が主体的に港の運営を担うべき。と、府 vs 市の対立的な発想から抜け出せず。

対する維新の主張は

- 府だ市だと争っている間に世界各国の港に荷物や顧客を奪われている。
- 府市の垣根を無くしてスケールメリットを活かすべき。

結果は

維新	自民	公明	共産	みらい
○	×	×	×	×

→ 否決 10/9本会議

市民の税負担を重くする! 市立環境科学研究所と府立公衆衛生研究所 同様の研究所が2つある問題

大阪府民

ムダの多い二重の設備
府と市の研究所がバラバラに研究。
同じような機器、設備を購入。

税金は1ヶ所に!
2つの運営を一元化することで、設備統合により
市民の税負担を軽減。統合した研究所は日本最大規模に!

でも... 反対派の主張は...

- 2つの研究所は大阪市内と市外でエリア分けをしているので二重ではない。
- 2つの研究所は研究の範囲も異なっていて、それぞれに強みがある。
- と、市の権限を手放さない一方で、市民の負担は議論されなかった。

対する維新の主張は

- (感染症対策について) 市内・市外を役割的な理屈でエリアを分けているが、人も空気も市の垣根を越えて移動しており、実際には広域での対応が必要。
- 両研究所の強みを統合することによって研究に厚みが出る。設備面でも全国最大規模の研究所に強化される。

結果は

維新	自民	公明	共産	みらい
○	×	×	×	×

→ 否決 10/9本会議

結局

今議会でも市議会は市の権限に固執し、
二重行政の問題は話し合いでは
解決できなかった。

大阪市と大阪府が同じ仕事をやることで住民の税負担も2重に。
維新の会は、府と市の対立を少しずつ解消し、改革を進めてきました。
この改革を続けるのか、それとも過去の不幸せ(府市合わせ)に戻すのか
選ぶのは、大阪市民のみなさんです!

